

水産物の安全性と消費者の信頼確保のため、トリチウムを対象とする水産物のモニタリングを実施しています。

<令和4年度>

- 北海道から千葉県まで、東日本の太平洋側で200検体程度を分析。
- 精密な分析のため、分析結果を出すには1か月半程度の期間を要する。
- 検出限界値は、最大でも0.4Bq/kg程度であった。

<令和5年度>

- できるだけ早くモニタリングの結果を生産者・消費者に提供し、風評を抑制したい。
- 具体的には、検出限界値を10Bq/kg程度とし、翌日又は翌々日に結果を得られる手法（迅速分析）を実施。

トリチウムのモニタリングの概要について ②

- ・ 放出口の北北東へ約4km、放出口の南南東へ約5km（赤囲み部分）でサンプリング。
- ・ ALPS処理水の海洋放出前の8月8日から実施。放出前後で結果を比較。
- ・ 放出期間中は週4回、放出の無い期間は週1回検査結果を公表。
- ・ 第1回目の放出日（8月24日）から令和6年3月14日までに、148検体の分析^(※)を行い、全て検出限界値未滿。

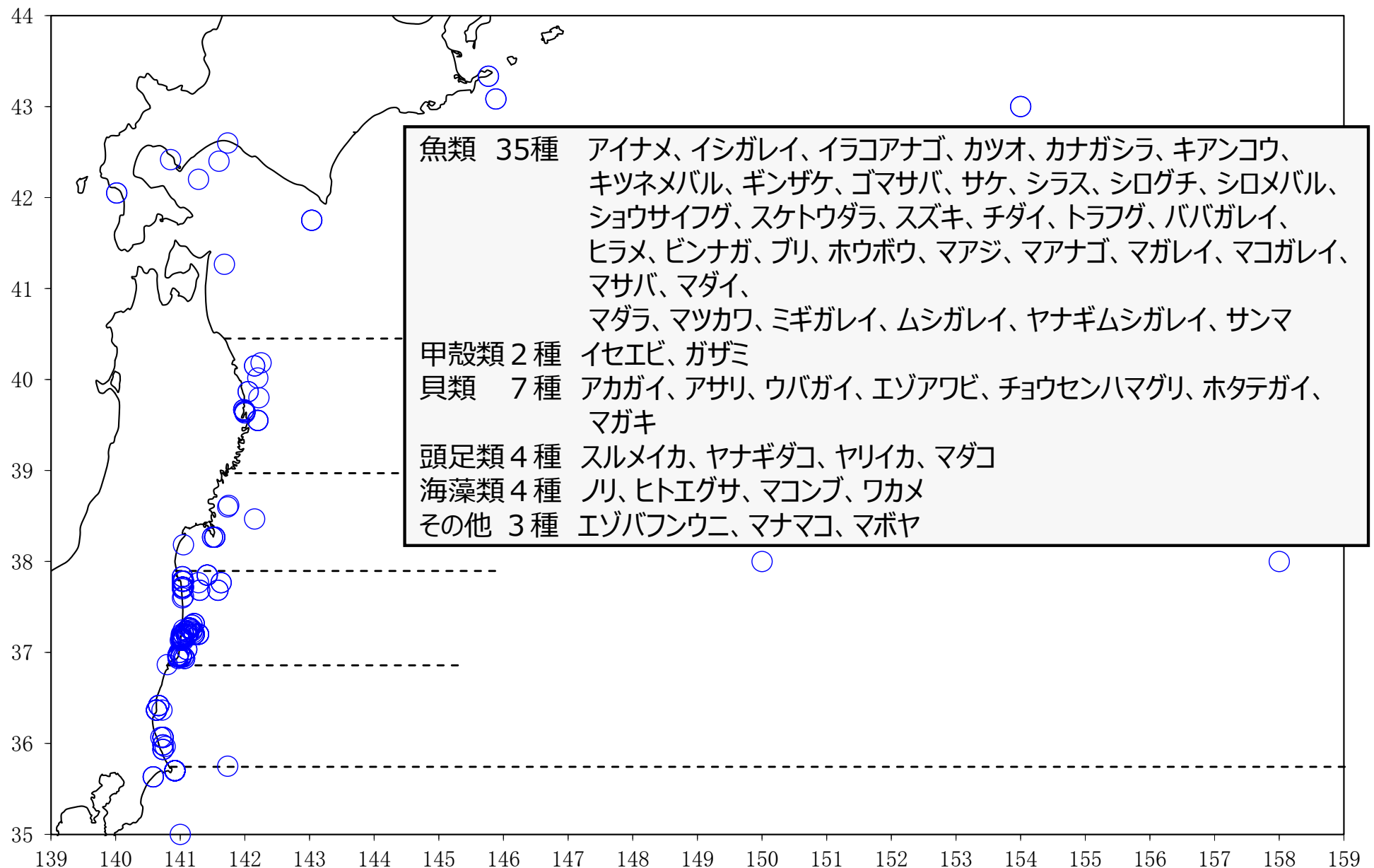


サンプリングポイント

※ ヒラメ、ホウボウ、マダイ、マゴチ、トラフグ、メイタガレイ
ババガレイ、イシガレイ

トリチウム分析結果（精密分析）

- 令和4年6月から開始し、令和6年2月28日時点で400検体の分析を実施しました。



トリチウム分析結果（迅速分析）

- 令和5年8月から開始し、全ての検体で検出限界値未満です。

No.	試料名	生産水域	採取地	漁具設置		漁具回収		報告日	分析部位	(単位: Bq/kg)		分析機関
				日	時	日	時			(検出限界値)		
152	ヒラメ	福島県沖	T-S8	R6.2.29	17:20頃	R6.3.1	4:40頃	R6.3.5	筋肉	検出限界値未満	(7.34)	(公財)海洋生物環境研究所
153	ヒラメ	福島県沖	T-S3	R6.3.4	5:40頃	R6.3.5	4:30頃	R6.3.6	筋肉	検出限界値未満	(6.77)	(公財)海洋生物環境研究所
154	メイタガレイ	福島県沖	T-S8	R6.3.4	5:30頃	R6.3.5	5:00頃	R6.3.6	筋肉	検出限界値未満	(6.77)	(公財)海洋生物環境研究所
155	ババガレイ	福島県沖	T-S3	R6.3.5	5:30頃	R6.3.6	3:10頃	R6.3.7	筋肉	検出限界値未満	(7.24)	(公財)海洋生物環境研究所
156	ヒラメ	福島県沖	T-S8	R6.3.5	6:00頃	R6.3.6	3:20頃	R6.3.7	筋肉	検出限界値未満	(7.09)	(公財)海洋生物環境研究所
157	ヒラメ	福島県沖	T-S3	R6.3.7	14:15頃	R6.3.8	4:50頃	R6.3.12	筋肉	検出限界値未満	(7.54)	(公財)海洋生物環境研究所
158	ババガレイ	福島県沖	T-S8	R6.3.7	14:20頃	R6.3.8	4:30頃	R6.3.12	筋肉	検出限界値未満	(7.59)	(公財)海洋生物環境研究所
159	ヒラメ	福島県沖	T-S3	R6.3.11	6:10頃	R6.3.12	5:40頃	R6.3.13	筋肉	検出限界値未満	(7.52)	(公財)海洋生物環境研究所
160	ヒラメ	福島県沖	T-S8	R6.3.11	5:30頃	R6.3.12	4:45頃	R6.3.13	筋肉	検出限界値未満	(7.53)	(公財)海洋生物環境研究所
161	ヒラメ	福島県沖	T-S3	R6.3.12	6:00頃	R6.3.12	13:00頃	R6.3.14	筋肉	検出限界値未満	(7.18)	(公財)海洋生物環境研究所
162	ヒラメ	福島県沖	T-S8	R6.3.12	5:00頃	R6.3.12	13:00頃	R6.3.14	筋肉	検出限界値未満	(7.22)	(公財)海洋生物環境研究所

検査結果の公表

- 水産庁では放射性物質検査の結果をHPで公表しています。

水産庁 [English](#) [キッズサイト](#) [サイトマップ](#) [文字サイズ](#) [標準](#) [大きく](#)

[逆引き事典から探す](#) [キーワードから探す](#) [Google 提供](#) [検索](#)

[水産庁について](#) [政策について](#) [分野別情報](#) [報道・広報](#) [申請・お問い合わせ](#)

[ホーム](#) > [分野別情報](#) > [東京電力福島第一原子力発電所事故による水産物への影響と対応について](#) > [水産物の放射性物質調査の結果について](#)

水産物の放射性物質調査の結果について

(株)東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出による水産物への影響を調べるため、水産庁は、関係自治体及び関係業界団体等と連携し、福島県及び近隣県において、水産物のサンプリング調査をしています。

目次

- 1. [トリチウム](#) ([迅速分析](#) New!・[精密分析](#))
- 2. [放射性セシウム](#)
- 3. [ストロンチウム](#)
- 4. [参考](#)

1.～3.に関する英語の分析結果ページは[こちら](#)をご覧ください。

1. トリチウム

1-1. 海産物の結果

1-1-1. 迅速分析（令和6年3月14日現在）

水産庁では、東京電力がサンプリングを実施するT-S3（放出口の北北東へ約4km）、T-S8（放出口の南南東へ約5km）（右図赤囲み）と同位置でサンプリングをしています。

<3月14日迅速分析結果>

No.	試料名	生産水域	採取地	漁具設置		漁具回収		報告日	部位	(単位: Bq/kg) (検出限界値)	分析機関
				日	時	日	時				
161	ヒラメ	福島県沖	T-S3	R6.3.12	6:00頃	R6.3.12	13:00頃	R6.3.14	筋肉	検出限界未満 (7.16)	(公財)海洋生物環境研究所
162	ヒラメ	福島県沖	T-S8	R6.3.12	5:00頃	R6.3.12	13:00頃	R6.3.14	筋肉	検出限界未満 (7.22)	(公財)海洋生物環境研究所

T-S3 : 緯度 37°27'30"N 経度 141°04'44"E
T-S8 : 緯度 37°23'00"N 経度 141°04'44"E

世界保健機関 (WHO) の飲料水水質ガイドライン基準 : 10,000Bq/L



(出典) 福島県下漁協組合長会議資料を改変

水産物の安全性と消費者の信頼確保のため、

- (1) 関係者の御要望を踏まえつつ、トリチウムを対象とする水産物のモニタリングを行う。
- (2) これまで行ってきた放射性セシウムのモニタリングは、検体数を維持し継続。

<ポイント>

(1) トリチウム

- ① 精密分析（検出限界値：0.4Bq/kg程度。分析期間：1カ月半程度。）
令和4年度から実施してきた公定法を継続（年間200検体）。
- ② 迅速分析（検出限界値：10Bq/kg程度。分析期間：1日から2日程度。）
令和5年度から実施してきた手法を継続（年間250検体）。
分析の頻度を、放出期間中は週4回、放出の無い期間は週1回で実施。

(2) 放射性セシウム

検体数は9,000検体を維持。